


平成30年度 上下水道部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
上下水道部長 萬代 昇	<p>●使命 私たち上下水道部は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフライン事業を担っています。上水道は、災害に強い高水準な施設整備を進め、安全・安心で良質な水を安定的に供給します。 下水道は、快適な生活環境の整備と日々の生活で汚した水を高度処理し水質保全を図り、豊かな水環境を守ります。</p> <p>●基本方針</p> ①災害に備え、上水道の水源別、配水管エリアを結ぶ連絡管布設、基幹管路の強化や老朽管更新・耐震管への布設替えを進めます。 ②浄水場、配水池関連の更新等の機能強化を進めます。 ③水道水の安全で安定的供給と経営の健全化を進めます。 ④効率的な運営管理を見据えた整備計画を進めます。 ⑤下水道事業の効率化、維持管理コスト縮減、供用開始区域内の接続推進を図り経営の健全化を進めます。	所管課	上水道業務課・上水道施設課 下水道課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			37人	8人	45人
		水道事業会計	3,851,262 千円		
		下水道事業会計	2,867,815 千円		
		計	6,719,077 千円		
(うち人件費)	(283,723 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	基幹管路の災害時応急給水強化	災害時に邑久・長船間の応急給水が出来る様に、邑久・長船東連絡管（大町～東須恵間）の配水管布設工事を継続します。	耐震型ダクタイトイル铸铁管口径200mm、延長約600mを3月までに布設します。	9月に契約を行い進捗率10%です。	耐震型ダクタイトイル铸铁管口径200mm L=538.8mは、平成31年1月末で布設工事は完了しました。	

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	浄水場施設更新及び送水管施設の機能強化	福山浄水場の更新整備事業を継続します。	浄水処理棟、浄水池を築造した後、機械・電気設備工事を完了させて、3月末までに新浄水処理方法の切り替えを行います。他の工事については、継続して実施します。	浄水処理棟及び浄水池築造工事は、概ね完了し、進捗率は56.3%です。2月に新浄水処理方法の切り替えに向けて機械電気設備工事及び試運転の準備を行います。	機械・電気設備工事は完了し、試運転後の水質検査結果良好であり、2月1日から新施設に切替を行います。今後は既設施設の撤去を行います。	2月1日に新浄水処理施設から給水を開始しました。その後、既設の着水井、薬品沈殿池、急速ろ過池、浄水池の撤去も完了しました。
		北島送水管の布設替工事を継続します。	耐震型ダクタイル鋳鉄管口径400mm、延長約350mの詳細設計を4月に発注し12月に完成させて、送水管布設工事(5工区)の発注を3月末までに行います。	詳細設計業務は完了し、送水管布設工事(5工区)の発注の準備を行います。	1月に契約を行い、工事準備中です。	現場調査及び送水管布設工事箇所の伐開作業が完了しました。
3	有収率の向上	有収率の向上を目指し、老朽管更新工事の実施と漏水の多い地域の調査を行います。	福岡住宅老朽管を水道配水用ポリエチレン管口径75mm～50mm延長約920mの最終布設替工事を3月末までに行い今年度で完了します。	8月に契約を行い、進捗率10%です。	進捗率は、80%で、2月中に切替作業を終え年度内完工予定です。	配水用ポリエチレン管口径75mm～50mm延長925.3mの布設工事を完了しました。
			福岡地内老朽管を水道配水用ポリエチレン管口径75mm延長約600mの布設替を3月末までに行います。	9月に契約を行い、工事準備中です。	進捗率は、95%で、工事は完了して精算業務中です。	配水用ポリエチレン管口径75mm延長932.8mの布設工事を完了しました。
			市内全域で、選別して漏水調査実施を定期的に行います。	調査箇所を選別し2回の調査を委託発注しました。	3回の調査を完了し、4回目の調査を委託中です。	計5回の漏水調査を実施しました。延長12.3km給水773戸を調査(漏水14件を発見のうち11件修理済)

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況	
4	安定した経営計画の強化	水道水の安全で安定的な供給と持続可能な経営の計画策定をします。	アセットマネジメント(資産管理)及び経営戦略を盛り込んだ水道ビジョンを3月末までに策定します。	公募型プロポーザル方式により業者を決定し、旧ビジョンの検証、現地調査、資料収集等を行い、策定に向けて進めています。	素案が完成し、県と協議中です。	県との協議やパブリックコメントなどを経て、「瀬戸内市水道ビジョン・経営戦略」の策定を完了しました。
5	下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化のため、供用開始予定地区のパンフレット配布や広報紙・ホームページへの掲載、アンケート調査等により市民の理解を深め接続の向上を推進します。	供用開始地区への下水道接続率75.5%を目指します。	広報紙・市ホームページに早期接続のお願いを掲載しました。また、未接続世帯を対象とし、戸別訪問によるアンケート調査を計画しています。	10月下旬に農業集落排水エリアにおいて、未接続の27世帯を訪問し、下水道への接続依頼、及びアンケート調査を実施しました。また12月末には、特定環境保全公共下水道エリアにおいて未接続の491世帯に対し、接続推進の手紙を送付し、そのうち7世帯から接続申請がありました。	接続率は76.5%となりました。接続推進の手紙を送付した491世帯のうち、13世帯から接続申請がありました。今後も手紙の発送、戸別訪問、アンケート調査、広報紙・ホームページ、本庁1階でのモニター広告による早期接続のお願いを継続します。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	施設の適正な管理・運営	ストックマネジメント及び機能診断調査を実施して現状把握を行い、施設の点検・修繕・改築を計画し長寿命化を図り、長期的な視野に立って維持管理コストの縮減を目指します。	ストックマネジメント計画及び最適整備構想の結果を基に、施設又は機器の老朽化を見極め、計画的に修繕、改築方針の計画を3月末までに立てていきます。また、施設の統廃合についても今後の事業の進捗状況及び財政面等を考慮しながら研究していきます。	ストックマネジメント計画については、処理場の基礎調査、詳細調査および健全度判定が終わり、対策方針案および事業計画案を検討中です。最適整備構想については、基礎調査と詳細調査を実施中です。	ストックマネジメント計画については、処理施設の対策方針案及び事業計画案が完成したので、今後、県との協議を行っていきます。また最適整備構想策定業務については、機能診断調査が終了し、健全度判定やコスト比較を行っています。3月末までに最適整備構想を策定します。	ストックマネジメント計画の対策方針と事業計画及び最適整備構想の策定を完了しました。施設の統廃合については、引き続き研究していきます。